

中学校給食の事業着手を 当面の間、延伸します

今は、市立病院の経営安定化を図り、市民の命と

健康を守ることを何より優先すべきと判断しました

名張市長 北川裕之

延伸に至った経緯

市は、昨年11月に策定した「行財政改革プラン」に基づき、職員一丸となって、財政健全化の取組を進めています。令和7年度当初予算では、財源不足を約5.2億円縮減できました。

一方で、市立病院が現在策定中の「中期計画」や直近の経営状況を踏まえて精査を行ったところ、これまでの見込みを上回る市の一般会計からの繰出金の増額が必要となり、市の行財政運営に多大な影響を及ぼすことが明らかになってきました。

市立病院が、良質な医療を提供し、地域の医療機関と

連携しながら市民の命と健康を守るという使命を果たしていくために、市は、一般会計から追加の財政支援を行っていく必要があると考えています。

また、中学校給食の導入に向けて、昨年11月以降、手法や財源確保に向けた検討を重ねてきましたが、費用の大きな削減には至りませんでした。

加えて、米国の追加関税措置や経済状況の変動による税収への影響、人件費や物価・エネルギー価格の高騰など、不安定な要素が多く存在するため、現時点において今後の財政状況の見通しが不透明な状況にあります。

こうした状況の中、市の中期財政計画（令和6年度ローリン

グ版）の時点修正を行った上で、今後の主要施策の方向性を検討・整理しました。その結果、市立病院の経営安定化を図り、市民の命と健康を守ることを何よりも優先すべきと判断し、中学校給食の事業着手を当面の間、延伸することを決断しました。

中学校給食は必ず実現

中学校給食は、私の公約の一つであるとともに保護者や市民の皆さんからも大きな期待を寄せていただいています。事業着手の延伸は、まさに断腸の思いですが、中学校給食を必ず実現させたいと考えています。

中学校給食実現に向けた動き

現在、市内中学校の昼食は、家庭からの弁当を基本とし、注文弁当販売も実施しています。「中学校給食の導入が望ましい」とする意見書が提出されたのは平成28年3月のこと。意見書は、保護者や学識経験者などで構成される「中学校給食のあり方検討委員会」によって、生徒や保護者へのアンケートなども踏まえ、取りまとめられました。

また、市立病院が持続的・定期的に地域医療を提供し続けることのできる経営基盤の確立を図っていくとともに、「行財政改革プラン」の取組を着実に実行しながら、この困難な状況を乗り切っていく決意です。

中学校給食に事業着手する時期は、市立病院の「中期計画」による経営改革の取組効果が表れ、改善の道筋が見えた段階で、改めて総合的に判断します。

今後も、伊賀南部クリーンセンターの機器更新をはじめとする工事手法の見直しや事業精査のほか、行政組織のスリム化、新たな財源の確保、事務事業や

公共施設の見直しを進めていきます。加えて、人口減少社会を見据えて、従来の枠組みを超えた広域連携や公民連携などに取組み、財政危機からの早期脱却を目指すとともに、持続可能な行財政基盤を着実に構築していきます。

引き続き、職員一丸となって抜本的・集中的に改革を進め、人口減少社会に立ち向かうフロントランナーとして果敢にチャレンジし、どこよりも早く人口減少社会に対応した、未来に選ばれるまちを目指していきます。



指して取り組んできました。

しかし、厳しい財政状況が見込まれる中、昨年11月以降、整備手法や財源確保の見直しを再検討しましたが、大きな経費削減は見込めず、かつ、市立病院の経営改善が急務となってきたため、事業着手を当面の間、延伸する判断をしました。

市の重要施策である中学校給食の早期実現に向けて、少子化や物価高騰なども考慮しつつ、引き続き、様々な手法や財源確保策を模索していきます。

Q1 中学校給食は実現するの？ 早期実現に向けて、様々な手法を模索

平成 28 年 3 月

中学校給食のあり方検討委員会（平成 27 年 5 月設置）が、「中学校給食が望ましい」とする意見書を提出

令和 4 年 6 月

北川市長が、市議会で令和 9 年度中を目途に中学校給食を開始すると答弁

令和 5 年 2 月

基本構想を作成。給食の実施方式について「センター方式」と自校調理方式との 2 方式を検討することに。同年 3 月から、「民間活力等導入可能性調査」を実施

令和 5 年 8 月

全員喫食の早期実現などを総合的に判断し、「センター方式」の採用を決定。建設候補地の第 1 候補地を青蓮寺のテニスコートとゲートボール場とする。

令和 6 年 2 月

調査報告書を踏まえ、中学校給食センターを官民連携で整備することに（PFI 方式）。また、建設予定地を第 1 候補地である青蓮寺に決定。併せて基本計画を策定する。

令和 6 年 11 月

市の財政状況などを踏まえ、改めて事業費の精査や検証を行い、令和 7 年 6 月を目途に方向性を示すこととした。

令和 7 年 5 月

市議会全員協議会で中学校給食の事業着手延伸を報告



Q③ 今後の財政状況の行方は？ 財政健全化への道を、着実に一歩ずつ

恒常的な財源不足が背景に
名張市は、急増した人口が減少に転じ、恒常的に財源不足が生じています。こうした中、社会保障費や公共施設更新に必要な経費が増大。過去の借金が市財政を圧迫し、新たな支出への対応が難しい状況にあります。中期財政試算（昨年11月）では、伊賀南部クリーンセンターの機器更新や中学校給食施設の整備などの投資事業が5年間で集中するなどし、対策を講じなければ、令和10年度に「財政再生団体」に陥る可能性を示しました。

財政健全化に向けて、「行財政改革プラン」（令和6～14年度）により、歳入確保と歳出削減の取組を進めていて、令和7～11年度で24.7億円の財源不足の縮減を見込みます（計画策定時）。令和7年度当初予算においては、歳出・歳入合わせて、財源不足を5.2億円縮減。このうち令和8年度以降も実施できる取組を検討し、さらに、年3.2億円の縮減を目指します。

「行財政改革プラン」の取組や「行財政改革プラン」の取組や

市立病院への繰入金増額などを踏まえ、昨年11月策定の中期財政計画（令和6年度ローリング版）を5月時点で修正しました。その結果、令和11年度の累積赤字は32.6億円となり、「財政再生団体」への転落は回避できる見込みですが、予断を許さない状況にあります。

こうした中、実現を目指している中学校給食は、導入初年度に生じる6億円の負担（一般財源）に留まらず、2年目以降も年2～3億円の経費が発生し続ける大規模事業です。中学校給食の事業に着手した後、仮に財政状況がさらに悪化した場合も、途中で中止することは困難となります。中期的に累積赤字が見込まれる中、今は財政健全化と、市立病院の経営安定化に向けた取組を着実に実行していくべきと判断しました。

「行財政改革プラン」の理念に掲げているのは、「変化を受け入れ、未来を共創する」。財政健全化の取組と合わせて、公民連携の推進、デジタルの積極的な活用、公共施設の最適化、外部人材の登用、人材育成など、人口減少社会における持続可能な行財政運営基盤の構築に、職員一人丸となって取り組んでいきます。

Q② 市立病院の置かれている状況は？ 経営改善に向け、地方独立行政法人へ

全国的に公立病院の経営が悪化
全国の公立病院は、非常に厳しい経営状況に直面しています。医師や看護師不足、人件費や物価の高騰などを背景に、令和4年度には約3割だった赤字の公立病院の割合が、令和5年度には約7割に急増しています。

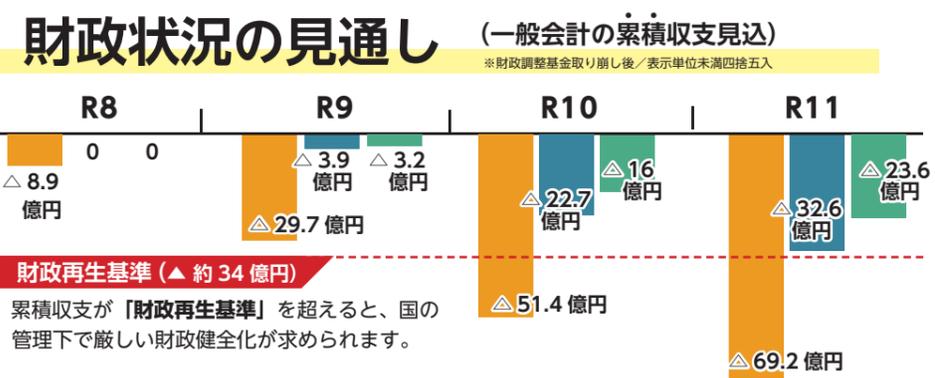
名張市立病院も例外ではなく、経営安定化が急務となっています。コロナ禍後の患者数減少や、経費増大、看護師の離職に伴う入院患者の受入病床数制限などが経営を圧迫。令和7～10年度までに、約12.8億円の資金不足が見込まれます。そうした中、市からの繰出金を、昨年11月の見込みより、この4年間で、さらに7.3億円増額する必要が生じてきました。

経営改善に向けた動き
この危機的な状況を克服し、地域医療の中核としての役割を果たし続けるため、市は市立病院の今年10月からの「地方独立行政法人化」に向けて準備を進めています。この法人化は、有識者などからなる「名張市立病院在り方検討委員会」の答申な

どを受けて決定しました。運営主体が市から法人に変わること、代表者が市長から現場に近い理事長に変わり、迅速な意思決定と柔軟な組織体制を生かした効率的な運営が可能となります。また、法人独自の就業規則や手当を導入することで、職員の働きがいや高め、人材確保の強化につながります。

すでに、令和7年4月以降、新たに3人の医師を採用し、来年度の新人看護師の応募が本年の約1.5倍に増加するなど、改善の兆しが見え始めています。また、「未来会議」や「病院改革委員会」といった職員主体の取組も立ち上がり、業務改善や組織強化につながっています。

現在、市立病院では、「中期計画」の策定作業を進めています。法人化後の第1期（10月～令和10年度末）は、看護師確保を最優先課題とし、病床稼働率を段階的に回復したいと考えています。この期間中、市からの繰入金増額のほか、国の「病院事業債」の活用を進めつつ、法人の強み・特性を生かし、経営基盤を強化していきます。もちろん、法人化後も、公立病院として市民の命と健康を守ることが最優先であることは変わりありません。



市民と市長の懇談会を開催

中学校給食の延伸や市立病院の経営改善、行財政改革など、市の現状と課題を市民の皆さんと共有し、ご意見や提言をいただく懇談会を開催します。懇談会は市長が参加し、8月下旬に市内5カ所で実施する予定です。詳しくは、広報なばり8月号でお知らせします。

◀市HPからも「市民の声」をお寄せください

私の思いをお伝えします
皆さんの声をお聴かせください

行財政改革プラン・中期財政計画

中学校給食

市立病院

詳しくはHPをご覧ください